

## 事務事業評価票

番号	枝番号	事務事業名	部名	課名	所属長名	
030		中学校図書整備事業	教育委員会	教育総務課	小西明美	
基本事項	基本政策	03	こころ豊かな人が育ち、いきいきと活躍できるまち(教育・文化・スポーツ)	会計	01	一般会計
	政策	01	人間力を培う教育環境の充実	款	10	教育費
	施策	01	基礎・基本教育の充実と質の高い学習の展開	項目	03	中学校費
				目	01	学校管理費
<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度		事業開始年度	不明年度	完了予定年度	未定年度	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時

事業の対象(誰に対して・何に対して)	事業の目的(どういう状態にしたいのか)
西脇市立の中学校に在籍する生徒	読書に対する習慣育成や自分で興味を持ち調べる等の学習習慣を培うことにより知的活動を増進するとともに、人間形成や情操を養う。
事業の内容(目的達成のための手段・方法)	
学校図書は、生徒の教育課程の展開において健全な教養を育成するものである。よって、その充実のため、文部科学省が目標設定している学校図書館図書標準冊数(学級数による蔵書冊数)、学校規模(クラス数、児童数等)も考慮しながら、学校から要望のあった新しい図書、興味ある図書を整備していく。	
補助・単独: <input type="checkbox"/> 国・県の補助金有り <input checked="" type="checkbox"/> 市単独	
<input checked="" type="checkbox"/> 義務実施事業	根拠法令要綱等: 学校図書館法
<input type="checkbox"/> 努力義務実施事業	根拠法令要綱等:
<input type="checkbox"/> 任意実施事業	根拠条例等:
<input type="checkbox"/> 市単費上乗せ(またはの場合)	根拠条例等:
正規職員が関与すべき法的義務性	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(該当業務: )
	法令名・根拠条文:
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担金 <input type="checkbox"/> その他( )
	委託の場合: <input type="checkbox"/> 入札 <input type="checkbox"/> 随意契約(契約先: )

### 総合計画・行動計画 施策シート

#### 優先度

A  B  C

展開方針 (年度別の事業内容)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	以降
	総事業費	千円	千円	千円	千円
平成22年度の実施内容・成果			平成22年度の実施内容・計画どおり実施できなかった理由		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進んでいる。 <input type="checkbox"/> おおむね計画どおり進んでいる。 <input type="checkbox"/> 着手しているが、計画よりも遅れている <input type="checkbox"/> 計画どおり着手していない。 <input type="checkbox"/> 完了・達成(計画事業の終了)					
確認項目			市長指示事項等		
<input type="checkbox"/> 総合計画対象事業 <input type="checkbox"/> 市長公約・懸案事項 <input type="checkbox"/> 議会確認事項					
企画政策課 意見					
			行動計画掲載 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C		

		単位	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
事務事業データ	事業費(予算額または見込額) (A')	千円	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	特定財源		0	0	0	0	0
	一般財源		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	事業費(決算額) (A)		1,924	1,856	2,000	1,956	
	特定財源		0	0	0		
	一般財源		1,924	1,856	2,000	1,956	
	一般職員所要人員 (B)	人	0.03	0.02	0.02	0.01	
	一般人件費[平均給与×(B)] (C)	千円	238	158	158	79	
	総コスト[(A)+(C)] (D)	千円	2,162	2,014	2,158	2,035	
	受益者負担額 (E)	千円					
受益者負担率[(E)/(D)] (F)	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

【1次評価】

評価実施:平成22年度

			18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
活動指標	名称	蔵書冊数(全体)	目標値 42,400冊	42,400冊	42,320冊	42,320冊	41,280冊
	実績値	29,467冊	30,640冊	31,692冊	32,638冊		
(目標)	名称	整備冊数(全体)	目標値 1,100冊	1,100冊	1,100冊	1,100冊	1,100冊
	実績値	999冊	1058冊	927冊	946冊		
成果指標	名称	達成率	目標値 69.0%	72.0%	74.0%	76.0%	81.0%
	実績値	69.5%	72.3%	74.6%	77.1%		
(目標)	名称	貸出冊数	目標値			16,680	16,440
	実績値				2,860		
評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性		2	実施主体の妥当性	
	直接のサービスの相手方	3	受益者負担の適切さ		5	市民ニーズの把握	
総合評価	評価結果	判断理由	学校図書館が、学校教育において欠くことのできない基礎的な設備であるため。				
	改善策	改善策	より教育効果の高い書籍の購入に努める。				

【2次評価】

評価実施:平成22年度

			18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性		2	実施主体の妥当性	
	直接のサービスの相手方	4	受益者負担の適切さ		5	市民ニーズの把握	
総合評価	評価結果	判断理由	法律に基づき、市が実施しなければならない事業であることから、今後も必要な事業である。国の定める図書館の整備基準の達成率を上げることは必要であるが、事業の目的は生徒に読書する習慣をつけさせることや、低学年に対しては本に慣れ親しませることなので、購入図書の内容や読書をさせるための工夫が必要である。特に中学生の図書の貸出件数は低い。				
	改善策	改善策	図書の整備基準の達成率を上げることは必要であり、毎年新たな書籍を購入することは、今後も継続して必要である。ただし、事業の目的である子供たちの読書の機会を増やすことへの取組は必要である。学校ごとに図書の貸出実績等を集計してあるので、それらを参考に貸出数の多い学校の取組や購入書籍の情報などを市内全校で共有するような方法が考えられる。				

【3次評価】

			18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
総合評価	評価結果	判断理由					
	改善策	改善策					